

2017年 9月30日

改訂 2017年10月 5日

<月例会用>

2017年 10月

月次経営報告の為のスピーチメモ

(株) アイヴィス

代表取締役 石和田 雄二

月次経営報告（2017年10月） <目次>

1. はじめに
{ 10月は下期スタート、心機一転、生産性向上で年度目標達成 }
2. 当社関連の最近の話題、3件
{ 3つの話題：KRS再建、NULトップ・ミーティング、社員旅行 }
3. 経営管理8月確定試算表と年度上期業績の推定
{ 上期推定の生産1,810M利益60M、外部環境良く程々順調 }
4. 第3四半期の業務推移予想と年度目標達成への課題
{ 3Q生産10億円、4Q11億への課題解決見通しと対策 }
5. 10月、11月の受注活動対象の注目案件とその背景
{ NII_WEKO3.0、NTT_Chat Bot 分析、SPring8放射光 }
6. 年度下期の組織体制と役割、担当者の微調整について
{ 組織の活性化を目指して若手リーダーの登用と人材再配置 }
7. ITサービスの話題と動向、当社の将来へどう生かすか
{ 話題3つ、顧客満足度調査、AIスピーカー、量子コンピュータ }
8. 景気動向とITサービス経営環境の変化
{ 政策誘導とEV、消費税と選挙、米国の景気動向、日銀短観 }

9. 3Q社内キャンペーン : 上級SE大阪転勤と中途採用

{ 期間2年大阪転勤SEに優遇処置+中途採用に1千万円投入 }

10. おわりに

{ 業績順調だが随所に潜在的問題、見える化と集中改造計画 }

<< 10月の番外広報メッセージ >>

◎ 人に学ぶ、言葉に学ぶ

尾崎 翠

『 おもかげを わすれかねつつ

こころかなしきときは

ひとりあゆみて おもひを野に捨てよ

おもかげを わすれかねつつ

こころくるしきときは

風とともにあゆみて おもかげを風にあたえよ 』

～ 今村さんのお別れの会で、ジュネーブ在住の娘さんの要望で

ご親族があいさつの中で詠まれた詩、印象的なので採録しておく。

娘さんは、今村さんの面影を重ねているのかどうか解りませんが、

詩は、哀愁を帯びていても、困難を超え前に進む人を称えたもの。

1. はじめに

{ 10月 は下期スタート、心機一転、生産性向上で年度目標達成 }

10月に入ると残暑や台風の季節も終り、秋らしい爽やかさが広がる。

休日の通勤時に足を運ぶ、東御苑や北の丸公園では、ヒガンバナも、ハギの花も終り赤い実が目立ち始める季節、ガマズミ、ウメモドキ、ムラサキシキブやマユミ、高木のクロガネモチやイイギリなどです。順天堂前では、神田川沿いにある金木犀の花の香が心地よく漂う。

業務面では、それぞれの現場が忙しく動いていることもあり、全社的情報共有がないまま、その日暮しに流れている様にも見える。準備年の下期目標は、対上期経費3億増で生産を3億増やすこと、目先の利益よりも、将来に向け潜在力を高めることが目標、若手の成長と有償化率UP、新卒と高技術の契約社員の採用強化、BP連携、先端技術とITサービスの協働、目標管理体制の整備、等々、心機一転、生産性向上と能力基盤強化に向け一緒に努力してほしい。上野の国立博物館で運慶特別展が9月26日から開催されている。時にリフレッシュ、仲間との連帯感も強めてほしい。

2. 当社関連の最近の話題、3件

{ 3つの話題：KRS再建、NULトップ・ミーティング、社員旅行 }

話題その1： WIT サービス部門 KRS をどう再建すべきか。

回線マイグレを通じて大阪を立ち上げる計画でいたが、

終ってみると、一極集中と本社依存症で、実態はぬけ殻の危機

当面は JPTS の社内一括で凌ぐが、自立への意思と仕組み必要だ

人材不足がネックの本質、自律成長には超 30 名体制実現が条件

KRS の役割を<先端技術+専門人材>に設定、中途採用に本腰

話題その2： NUL のトップミーティングでの人財対応の話

少子高齢化の下、IT サービスの未来をどう開くか、採用、教育、

配置、人事制度の問題を議論するが、当社はこれからが大変だ。

最大の問題は採用より、専門不足と専門を活かす組織力の弱さ。

将来構想共有、PMPL 育成、専門資格倍増、生産性と賃金 Up、

手遅れになると人材流出が始まる。あと 3 年、時間との戦いだ。

話題その3： 中国人社員も含め全社連帯イベント、紅葉の秋旅行

組織力の基礎はボトムアップ、社員相互の信頼と組織への連帯感

来年度からの 3 カ年計画を前に、同期の連帯を軸に懇親を深める

3. 経営管理 8 月確定試算表と年度上期業績の推定

{ 上期推定の生産 1,810M 利益 60M、外部環境良く程々順調 }

☆経営管理部の 8 月度確定試算表から・・・

売上高	243M	: 2 億 4 千 3 百万円
仕掛増	60M	(=月末 284M—月首 24M)
付加価値生産	303M	
経費	279M	(製造 254M+販管 25M+営外 1 M)
経常利益	24M	(～営業総利益 49M、営業利益 25M)

☆経営管理部の試算表から 9 月生産、利益を予測

付加価値生産	346M	(=売上 410M—仕掛減 64M)
経常利益	21M	(=生産 346M—経費 325M)

☆年度上期の売上、付加価値生産、経常利益の予測

付加価値生産	1,810M	(=売上 1620M+仕掛増 190M)
経常利益	60M	(=生産 1,810M—経費 1,750M)

☆ {付加価値生産、経常利益} の対前期比、年度計画比

対前期比 生産; +85M<4.9%↑>、利益; +58M<300%↑>

対年度計画比 生産; +70M<4.0%↑>、利益; +120M<—>

総評 問題山積の中で程々順調 <= 実力より外部環境

4. 第3四半期の業務推移予想と年度目標達成への課題

{ 計画3Q生産10億円、4Q生産11億への下期予算と課題対応 }

□ 2Qより9千万円増の経費を投じ、3Q7千万増の生産を達成へ

☆ 3Q生産目標10億円達成への対2Q実績からの月増分額

2Q {7月、8月、9月} = 2Q生産実績 {282M、303M、346M}

3Q生産目標 {320M、320M、360M} - 2Q生産 { … }

=> 3Q増分目標 {+38M、+17M、+14M} ~ 69M ≒ 70M

☆ 3Qの経費増分 < 賞与+外注増+採用他経費 > 90Mを月別再配分

2Q {6月、7月、8月} = 2Q経費実績 {274M、278M、325M}

3Q {10、11、12月} = 3Q経費目標 {300M、310M、357M}

☆ 3Q利益目標 {10、11、12月} = {20M、10M、3M} ~ 33M

☆ 2Qの改善対象 => 3Qの業績向上の努力余地と可能性

賞与増は月1千万 => 経費6千万増で生産7千万増を実現

- ① 2Qは客先常駐新人も無償が大半、この有償化が進む。
- ② ARDの高単価有償作業の稼働率向上と生産性向上効果
- ③ 「実験データ管理」等の問題プロジェクトの後遺症解消
- ④ EITS、SSS、WITSの営業、内製、管理の赤字解消努力
- ⑤ 3Qの採用費2千万増、外注費3千万増で生産の底上げ

□ 3Qより9千万の経費増を投じ4Q価値生産1億円増の達成へ

☆ 4Q生産目標11億円達成への対3Q実績からの月額増分額

3Q {10月、11月、12月} = 3Q生産 {320M、320M、360M}

4Q目標 {350M、350M、400M} - 3Q生産実績 { … }

=>4Q増分目標 {+30M、+30M、+40M} ~100M

☆ 4Qの経費増分<賞与+外注増+採用他経費>90Mを月均等配分

3Q {10月、11月、12月} = 3Q経費 {300M、310M、357M}

4Q {1月、2月、3月} = 4Q経費 {330M、340M、387M}

☆ 4Q利益 {1月、2月、3月} = {20M、10M、13M} ~43M

□ 計画達成の最大の課題は、案件受注より人材確保と生産性向上

☆ 下期は上期比外注50M採用60M他160Mの費用増で人材補充

<<下期計画予算 及び 18年3月期決算の修正目標 >>

付加価値生産： 8.8億+9.3億+10億+11億=39.1億円

経費： 8.9億+8.8億+9.7億+10.6億=38.0億円

利益： -0.1億+0.5億+0.3億+0.4億=1.1億円

<<実現性の課題と実現への処方>>

◇ IT動向からネックは人材、中途採用+技術底上とBP活用

◇ MSS+BSSの相乗効果、ESS、CRS、KRSの黒字収益増

5. 10月、11月の受注活動対象の注目案件とその背景

{ NII_WEKO3.0、NTT_ Chat Bot 分析、SPring8 放射光 }

☆☆ NII_WEKO3.0 次期文献検索

応用技術開発部 ARD4G が担当して来た文献リポジトリシステムの

再構築に関する国立情報学研究所の公募案件、

件名：「次期リポジトリシステム WEKO 3 のフレームワークと管理機能開発一式」

入札済み、開札 10月13日（金） 15：00

==> 落札後は、MSS 下のプロジェクトで開発スタート

PRJ {(小山、八百板) 千賀 PM、ARD 中尾、ARD 杉本、萩原優}

☆☆ NTT_ Chat Bot 分析

NTTDT の CiMa 担当の佐藤部長の提案、膨大な LOG を持つ部門

なので機械学習で分析したい、試行的に Chat Bot から始める。

==> 結果が出れば、NSS 下で本格的な開発を行う

PRJ {(谷口、小橋、) 山本武、福寿 }

☆☆ SPring8 放射光の制御と実験効率化

<動画紹介> <https://www.youtube.com/watch?v=pvFnXbkCfvs>

名大の澤教授の下で AI を活用した分子構造の測定・解析自動化

==> PRJ {(谷口、古賀) 江口、仁科 }

6. 年度下期の組織体制と役割、担当者の微調整について

{ 組織の活性化を目指して若手リーダーの登用と人材再配置 }

□ 組織上の大きな変更点は次の4つ

- ☆ 社会インフラ部門を設置、NSS と SSS の2部で構成。
- ☆ BITS 部門は、BSS を残し SSS に代え MSS に入替え。
- ☆ 名古屋支社協業推進の為、CRS を TITS 部門に加える。
- ☆ 大阪支社を本社 ARD 出先部 KAS 加え KITS で再構成。

□ 組織名称の変更 本社の部レベルは元の SS 部で再統一

- ☆ CADCAM システム部 => CADCAM システム SS 部
- ☆ ネットサービスシステム部 => ネットワーク SS 部
- ☆ 社会インフラシステム部 => ソーシャルインフラ SS 部
- ☆ TITS+CRS => TITS、CRS => TBS (BIZ システムサービス)

□ 組織の責任者、役割担当者の変更

- ☆ ARD の部門連携推進と KRS の再立直しへ戦略的異動
ARD の営業兼業務管理担当副部長に ESS 坂本を抜擢
更改 BITS 部門の部門長は小山、副部門長は技術の古性
新 SITS 部門の部門長は石和田、副部門長は技術の潘騏
TITS、WITS 部門再編の為、名古屋大阪支社の役割変更

7. IT サービスの話題と動向、当社の将来へどう生かすか

{ 話題 3 つ、顧客満足度調査、AI スピーカー、量子コンピュータ }

☆☆ 日経コンピュータ_顧客満足度調査：IT 市場の変化が表面化

○ IT サービス部門 IBM 浮上、SI から AI データ分析に比重移る

IT コンサル {日本 IBM、日立製作所、富士通 }

システム開発 {日本 IBM、日本ユニシス、富士通 }

システム運用 {日本 IBM、NEC、富士通 (、日本ユニシス)}

クラウド基盤 {アマゾン、NTT コム、日本マイクロソフト}

☆☆ AI スピーカー：背後の AI とクラウドが軸、米国 3 社が先行

○ アマゾンが AI スピーカー「エコー」を年内発売すると発表

AI エンジン「アレクサ」搭載、AWS 上で日本語対応処理

AI スピーカーは、携帯に代わる次期商品、日米大手参入計画

アマゾン；エコー、 グーグル；グーグルホーム、

LINE ；ウェーブ、 アップル；ホームボット

ソニー ；LF-S50G、 パナソニック；GA10

☆☆ 量子コンピュータ：能力 1 億倍、富士通もカナダに開発拠点

○ AI の計算高速化の基盤として脚光、新旧大手も開発競争参入

カナダの DWS が商用「2000Q」を発売、MS は開発言語を公開

8. 景気動向と IT サービス経営環境の変化

{ 政策誘導と EV、消費税と選挙、米国の景気動向、日銀短観 }

☆☆ 英仏に追随、中国も 2030 年にガソリン車の製造販売を禁止

○ 20 年に公共バス、25 年にトラック、30 年に乗用車電動化

BYD 他中国国産メーカーは新エネ車 NEV で市場先行開拓

最大市場狙い世界大手が NEV 現地量産に向け再編再提携

電動化に加え無人運転、カーシェア、100 年 1 度の大変革

☆☆ 消費税と原発、それに安保法制と改憲が今回の総選挙の焦点

○ 勝利確実の国会冒頭解散が想定外の展開、首相も背水の陣

代議士も選挙負ければ只の人、政策論争消え新旧離散集合

消費税用途変更の是非とは別に今を措いて増税の機会なし

☆☆ FRB 金融緩和と法人税 20%への減税で米国経済は安定成長

○ ドル還流と製造業の回帰、大統領資質とは別に米経済回復

日本は円安株高だが、先行きに外圧と長期金利高騰が待つ

☆☆ 10 月 2 日発表の日銀短観、景気回復が続く中小にも広がる

○ 大企業製造業は 4 期連続改善、景況は 10 年ぶりの高水準

DI 値は大企業製造業で +22、前回 6 月より 6 ポイント上昇

リーマンショック以降の最高値、これからも続く見通し

9. 3Q社内キャンペーン : 上級SE大阪転勤と中途採用

{ 期間2年大阪転勤SEに優遇処置+中途採用に4千万円投入 }

☆☆ 社内キャンペーン1 : 大阪支社転勤者優遇措置で大募集

- 最短2年間の勤務を前提に、大阪勤務の社内転勤者を大募集
募集詳細、優遇処置は別途公示する。

会社全体の健全な発展の為、是非応募してほしい。

異文化や未知の街や人との出会いは、自らを豊かにする。

☆☆ 社内キャンペーン2 : 西日本北陸中心に中途採用者募集

- 専門技術を前提に、大阪勤務の中高年者を大々的に募集

大阪に先端技術組織を旗揚げ、形から入って巨大な実を作る

3Qに2千万円、4Qに1千万円投入して専門家を集める

扱いは半年契約の契約社員、IT未経験者は新人集合教育活用

☆☆ 社内キャンペーン3 : 情報処理試験高度資格の取得推進

- 現在の高度資格者49名を今後3年間で3倍増120人超へ

正式には来年度からだが、10月の試験合格者にも準適応

高度資格合格者には、4等級登用資格と共に高度資格基準の

表彰金5万円に加えキャンペーン特別褒賞金5万円を供与。

10. おわりに

{ 業績順調だが随所に潜在的問題、見える化と集中改造計画 }

- 上期を終わって業績は比較的順調だ

問題山積だが、人手不足の経営環境と若手の成長で計画を達成

- 下期も経営環境は悪くないが、成長を目指すのは簡単ではない
全員稼働の2Qより先行投資3億投じて3億増産、大きな挑戦

- ビジネスは、将来的な目標実現と利益の極大化を目指す戦いだ
変革期での安全志向は自滅への第一歩、挑戦が未来への道拓く

- 組織力、組織の活性化が年度下期の最大の課題であり努力目標
組織力はボトムアップパワー、次期3か年計画の心の柱を築く

- 来年度からの3か年計画ではその先の未来への成長基盤を築く
成長基盤と共に、目標の555達成と給与所得50%増を目指す
技術者社員500名、売上超50億、開発投資5億円達成。

加えて、給与所得社員の年間所得50%増も目指す。

その先は、新経営体制でIPO、上場企業へ。

当社の未来を創るのは我々社員、力を合わせ一緒に頑張ろう。

<< 10月の番外広報メッセージ >>

◎ 人に学ぶ、言葉に学ぶ

尾崎 翠

『 おもかげを わすれかねつつ

こころかなしきときは

ひとりあゆみて おもひを野に捨てよ

おもかげを わすれかねつつ

こころくるしきときは

風とともにあゆみて おもかげを風にあたえよ 』

～ 今村さんのお別れの会で、ジュネーブの娘さんの要望で
ご親族があいさつの中で詠まれた詩、印象的なので採録しておく。
娘さんは、今村さんの面影を重ねているのかどうか解りませんが、
詩は、哀愁を帯びていても、困難を超え前に進む人を称えたもの。

ビジネスの基本が成長なら、必ず課題、問題の克服で困難と対峙する。
困難を克服する力は、過去を捨て、ひたすらに前へ進む強い意志だ。
3か年計画の準備年であるこの下期が目標への大きな分岐点となる。
当社の未来は日本の未来、志高く共に未来を拓いて行こう。 (了)